

自己評価検証委員会
エネルギー・環境領域分科会 議事要旨

1. 日時： 令和4年3月9日（水） 13時00分～16時15分
2. 場所： オンライン会議（Teams）
3. 議事概要

(1) エネルギー・環境領域の研究概要と年度計画の位置づけ

エネルギー・環境領域	領域長	小原 春彦
電池技術研究部門	部門長	安田 和明
省エネルギー研究部門	部門長	堀田 照久
安全科学研究部門	部門長	玄地 裕
エネルギープロセス研究部門	部門長	松岡 浩一
環境創生研究部門	部門長	鳥村 政基
先進パワーエレクトロニクス研究センター	センター長	山口 浩
再生可能エネルギー研究センター	センター長	古谷 博秀
ゼロエミッション国際共同研究センター	副センター長	羽鳥 浩章

- 当日資料を用いて、各部門長より研究の概要と年度計画の位置づけについて説明が行われた。（この議事において、質疑応答は行われていない。）

(2) 社会課題の解決に向けて全所的に取り組む研究開発

○ 温室効果ガス大幅削減のための基盤技術開発

エネルギー・環境領域 研究戦略部研究企画室 室長 古瀬 充穂

- 資料2-3)に基づき、研究領域より説明が行われた。その後、当該説明、および事前に視聴していただいた動画の内容について質疑応答が行われた。委員からは、電池やインベントリデータベース、水素吸蔵合金、超臨界地熱資源、領域融合テーマ等に関する質問やコメントがあった。

(3) 経済成長・産業競争力の強化に向けた橋渡しの拡充

○ モビリティエネルギーのための技術の開発

○ 電力エネルギー制御技術の開発

エネルギー・環境領域 研究戦略部研究企画室 室長 古瀬 充穂

- 資料2-3)に基づき、研究領域より説明が行われた。その後、当該説明、および事前に視聴していただいた動画の内容について質疑応答が行われた。委員からは、各技術に

関する質問の他、研究の目標の立て方やアウトカムイメージ等研究全体に関する質問やコメントがあった。

(4) イノベーション・エコシステムを支える基盤整備

- パワーデバイス、パワーデバイス用ウェハに関する標準化
- 再生可能エネルギーの主力電源化に向けた標準化

エネルギー・環境領域 研究戦略部研究企画室 室長 古瀬 充穂

- 資料2-3)に基づき、研究領域より説明が行われた。その後、当該説明、および事前に視聴していただいた動画の内容について質疑応答が行われた。委員からは、パワーコンディショナーの性能試験法について質問があった。

(5) 全体質疑

- 全体の質疑応答を行った。

(6) 委員討議

- 委員による討議が行われた。

(7) 委員からの講評

- 委員から講評が行われた。個別の研究については、非常に良い成果が出ている。一方で、全体のマネジメントでは、2050年と現在のつながりが分かるように、中間地点(2030年ぐらい)の未来を明らかにし、研究目標を立てていくと良いというコメントがあった。

4. 分科会委員(敬称略、委員五十音順)

関根 泰 早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授 (分科会主査)
岩田 章裕 関西電力株式会社 研究開発室 技術研究所 所長

5. 配布資料

- 資料1-1) 資料一覧
- 資料1-2) 議事次第
- 資料1-3) 分科会出席予定者
- 資料1-4) コメントシート
- 資料2-1) 自己評価書コンテンツ
- 資料2-2) 要点資料
- 資料2-3) 説明資料

以上